

# 学校法人会計(C2)の勘定科目設定

シンシステムデザイン <http://www.ssdesign.co.jp>

らくらく会計は、通常の複式簿記の仕訳を行うことにより、貸借対照表(B/S)、消費収支計算書(P/L)、資金収支計算書(C/F)が同時に作成できます。

勘定科目はほぼ自由に設定できますが、正常な会計処理を行うためには、次の点を注意しながら科目の設定・変更をしてください。

## 科目の属性

初期設定メニュー ⇒ 勘定科目設定

勘定科目の設定画面を開くと、次のような画面になります。

勘定科目(B/S,P/L)		資金収支の科目(C/F)		私学財団基礎調査科目設定					
科目コード	科目名	FlgA	FlgB	FlgC	小科目	補助科目	FlgG	FlgH	消費税
▶10000	【資産の部】	9	1	0					
11000	固定資産	3	1	0					
11100	有形固定資産	2	1	0					
11110	土地	0	1	0				22	
11120	建物	0	1	0				22	
11121	(建物減価償却累計額)	0	1	0					
11140	構築物	0	1	0				22	
11141	(構築物減価償却累計額)	0	1	0					

FlgA,B,C... は勘定科目の性格を決める重要な属性です。らくらく会計では、これを科目のフラグ(旗)といいます。

勘定科目のフラグは次のような約束にしています。

FlgA	0=仕訳をする科目 1=小科目計 2=(大)区分計 3=大区分計 4=〇〇部の計 5=借方、貸方の合計 9=コメント行
FlgB	1=B/S科目 2=P/L科目
FlgC	0=借方科目 1=貸方科目
小科目	1=小科目を設定
補助科目	1=補助科目を設定
FlgG	1=流動資産及び流動負債科目(引当金等非資金科目は除く) 110,118,119,120=システム規定値 991=予備費 992=準備金組入 準備金取崩 基本金取崩 999=決算書印刷時に印刷しない 500~510=人件費関係の科目
FlgH	10,20=支払資金への連携科目 11=未収金、12=前払金、13=未払金、14=前受金、18=手形債務 16=徴収不能額、17=繰越金 21~29=資金収支との連携科目 210~229=借入金明細書関係 990=予備費振替額

## 科目編集の基本操作

### 科目の挿入

挿入したい場所の一つ下にカーソルポインタを移動させて「+」をクリックしてください。

### 科目の削除

削除したい場所にカーソルポインタを移動させて「-」をクリックしてください。

### 変更の確定

は「レ」または、カーソルポインタを他の行に移動してください。

The screenshot shows the software interface for editing subjects. At the top, there is a toolbar with several icons: a left arrow, a right arrow, a double left arrow, a double right arrow, a plus sign (+), a minus sign (-), an up arrow, a down arrow, and a close icon (X). Below the toolbar, there are buttons for '科目印刷' (Print Subject), '補助科目印刷' (Print Sub-account), and 'チェック表印刷' (Print Check Sheet). A button labeled '開じる(C)' (Open) is on the right. Below the toolbar, there are search buttons: '前方検索' (Forward Search) and '後方検索' (Backward Search). A text box contains '資金収支科目へのコードジャンプ' (Code jump to fund flow account). Below this, there are buttons for '科目印刷' and '補助科目印刷', with a note: '補助科目の設定は補助=1にして、ダブルクリック' (Set sub-account to auxiliary=1 and double-click). Below the toolbar, there is a header for the table: '勘定科目(B/S,P/L) 資金収支の科目(C/F)'. The table has columns: '連番' (Serial Number), '科目コード' (Subject Code), '科目名' (Subject Name), 'FlgA', 'FlgB', 'FlgC', '小科目' (Sub-account), 'FlgG', 'FlgH', and a dropdown arrow.

## 科目の整列順

### 勘定科目（B/S P/L 科目）

科目コードの番号順に整列します。科目コードは5桁の数値です。

科目コード	科目名
10000	【資産の部】
11000	固定資産
11100	有形固定資産
11110	土 地
11120	建 物
11121	(建物減価償却累計額)
11140	構 築 物
11141	(構築物減価償却累計額)

### 資金収支科目（C/F 科目）

資金収支の科目は、「連番」順に整列します。

連番	科目コード	科目名
10		【支出の部】
20	51000	人件費支出
30	51005	教員人件費支出
40	51010	本務教員
50	51011	本 俸
60	51012	期末手当
70	51013	その他手当
80	51014	所定福利費

科目を挿入したい場合は、挿入したい場所の前後の番号のまだ使用していない番号を入れてください。

## 勘定科目の名称変更

科目名の欄にカーソルを移動させて、科目名をしてください。

例) 預金1 ⇒ チューリップ銀行

11010	現金預金
11020	現金
11040	チューリップ銀行(7654321)
11060	預金2
11080	預金3

## 科目の挿入

- 科目挿入をしたい位置の一つ下にカーソルポインタを移動して、「+」をクリックしてください。次の例のように、一行の空白が出来ますので、ここに新しい科目を入れて下さい。
- 勘定科目の科目コード  
科目コードは前後の科目コード間の数値で決めてください。  
科目コードが重複するとエラーになります。番号を詰めてしまうと以後は挿入が出来なくなりますので、余裕を持った科目コード付けをすすめます。
- 科目名を入れ、FlgA,FlgB,FlgC等を入れます。



資金収支科目へのコードジャンプ  
前方検索 後方検索

科目印刷 補助科目印刷 チェック表

補助科目の設定は補助=1にして、ダブルクリック

勘定科目(B/S,P/L) | 資金収支の科目(C/F) | 私学財団基礎調査科目設定

科目コード	科目名	FlgA	FlgB	FlgC	小科目	補助科目	FlgG	FlgH	消費税
12000	流動資産	3	1	0					
12010	現金預金	1	1	0					
12020	現金	0	1	0	1		1	10	
12030	預金1	0	1	0	1		1	10	
*									
12040	預金2	0	1	0	1		1	10	
12050	預金3	0	1	0	1		1	10	
12060	預金4	0	1	0	1		1	10	

### 【注意】

資金収支科目と連携する科目については、必ず資金収支科目（C/F）にも科目を挿入してください。C/F科目との連携はあとで説明します。

## 勘定科目の削除

- 削除したい科目の位置にカーソルポインタを移動して、「-」をクリックしてください。
- 確認表示の後に、削除が実行されます。
- 既に仕訳で使用した科目は削除しないで下さい。削除すると正常な会計処理が出来なくなります。

## 小科目の設定方法

- 次の例は「現金預金」に小科目を設定した例です。
- 「現金預金」科目の FlgA を「1」にします。
- 次の例では現金～預金5までの合計金額が「現金預金」に集計されます。

勘定科目(B/S,P/L)   資金収支の科目(C/F)   私学財団基礎調査科目設定										
科目コード	科目名	FlgA	FlgB	FlgC	小科目	補助科目	FlgG	FlgH	消費税	
12000	流動資産	3	1	0						
12010	現金預金	1	1	0						
12020	現金	0	1	0	1		1	10		
12030	預金1	0	1	0	1		1	10		
12040	預金2	0	1	0	1		1	10		
12050	預金3	0	1	0	1		1	10		
12060	預金4	0	1	0	1		1	10		
12070	預金5	0	1	0	1		1	10		
15000	未収入金	0	1	0			1	11		
15010	未収入金(会計期中)	0	1	0			1	10		
15020	貯蔵品	0	1	0						

### 【補足事項】

- ・ 収入科目や支出科目に小科目を付けた場合は、その小科目に予算をいれてください。
- ・ 小科目の集計科目には仕訳入力出来ません。
- ・ 資金科目と連携する科目は、資金収支科目にも同様な小科目を設定してください。

## 補助科目設定

### 補助科目の設定

- 補助科目を付けたい科目の「補助科目」に1を入れると行が赤色にかわります。

科目コード	科目名	FlgA	FlgB	FlgC	小科目	補助科目	FlgG	FlgH	消費税
21300	1年以内返済サビズ区分間長期借入金	0	1	1					50
21320	1年以内支払長期未払金	0	1	1					51
21340	未払費用	0	1	1			1		
21360	預り金	0	1	1		1	1		
21500	職員預り金	1	1	1					
21520	職員預り金(所得税)	0	1	1	1		1		

- この行でダブルクリックをすると、次のような補助科目の設定画面が出ますので、補助科目を入れてください。
- 補助科目コードは、001からの連番で設定してください。一科目について最大999補助科目まで設定できます。



- 補助科目の名称は、全科目に共通する名称になりますが、会計部門固有の名称にしたい場合は、次の”部門別名称変更”のボタンを押して名称変更をしてください。

#### 【補足事項】

- ・ 補助科目には、予算の入力が出来ません。
- ・ 補助科目を付けた科目は、仕訳の入力で必ず何れかを選択してください。  
もし、該当しないものがあると予想される場合は、999 その他 を入れてください。
- ・ 繰越金が必要のないP/L科目では、補助科目よりも“摘要名集計”が便利です。

## 部門別の補助科目名

- 勘定科目は、すべての部門で統一名称になりますが、補助科目は唯一部門ごとに独自の補助科目名にすることが出来ます。
- しかし、部門別の独自の名称にたくない場合は、“部門別の名称”を「しない」に選択して、勘定科目の設定画面を閉じると、すべての部門の補助科目名は統一されます。
- 部門別の名称変更は、下記のボタンを押してください。

- 部門別の名称変更は、この画面で行ってください。

### 【補足事項】

- ・ 補助科目を設定したのちは、“会計別の名称が優先されます。” “勘定科目の設定” で設定した名称に戻りたい場合は、“ 部門別名称変更” のボタンを押して補助科目名を空白にして画面を閉じると元に戻ります。

## 勘定科目（B/S、P/L）と資金収支科目の連携

### 資金収支科目との連携について

勘定科目と資金収支科目は、科目コード及び FlgH で連携しています。

科目コードによる連携	科目コードを一致させることにより、同一コードの収支科目に集計されます。 例えば、” 消耗品費 ” の科目コードは、P/L 科目と C/F 科目は同一にしないと、正しい処理ができません。
FlgH による連携	勘定科目(B/S,P/L)と収支科目が N:1(または 1:N)で連携する場合、科目コードだけでは一致させられないために、FlgH の値が一致する科目に金額が集計されるようにしています。 例えば、” 機器備品 ” の取得支出は科目コードで連携させますが、売却収入は” 売却益 ” とも連携していますので FlgH で連携させます。

この連携が正しくないと正常な会計処理が出来ませんので、科目のカスタマイズを行う前に連携チェック表を印刷して、変更後も連携チェック表で確認してください。

### 資金収支科目との連携例

#### 引当特定資産等の例

下図の例のように B/S 科目の固定資産は、科目コードで資金収支の収入・支出科目に連携しています。

#### B/S 科目

勘定科目(B/S,P/L)		資金収支の科目(C/F)			私学財団基礎調査科目設定				
科目コード	科目名	FlgA	FlgB	FlgC	小科目	補助科目	FlgG	FlgH	消費税
11500	退職給与引当特定預金	0	1	0					
11510	減価償却引当特定預金	0	1	0					
11520	施設設備引当特定預金	0	1	0					
11530	第3号基本金引当資産	0	1	0					

#### C/F の収入科目

勘定科目(B/S,P/L)		資金収支の科目(C/F)			私学財団基礎調査科目設定				
連番	科目コード	科目名	FlgA	FlgB	FlgC	小科目	FlgG	FlgH	
16100	11500	退職給与引当特定預金収入	0	2	1				999
16200	11510	減価償却引当特定預金収入	0	2	1				999
16300	11520	施設設備引当特定預金収入	0	2	1				999

#### C/F の支出科目

勘定科目(B/S,P/L)		資金収支の科目(C/F)			私学財団基礎調査科目設定				
連番	科目コード	科目名	FlgA	FlgB	FlgC	小科目	FlgG	FlgH	
7800	11500	退職給与引当特定預金支出	0	2	0				999
7900	11510	減価償却引当特定預金支出	0	2	0				999
8000	11520	施設設備引当特定預金支出	0	2	0				999

## 売却益が発生する固定資産の場合

売却益が発生するような固定資産は、P/L科目との連携も必要になりますので、売却益は科目コードで連携させてB/S科目はFlgHで連携させています。

勘定科目(B/S,P/L)   資金収支の科目(C/F)   私学財団基礎調査科目設定									
科目コード	科目名	FlgA	FlgB	FlgC	小科目	補助科目	FlgG	FlgH	消費税
11100	有形固定資産	2	1	0					
11110	土地	0	1	0				22	
11120	建物	0	1	0				22	
11121	(建物減価償却累計額)	0	1	0					
11130	建物付属設備	0	1	0				22	
11131	(建物付属設備減価償却累計額)	0	1	0					
11140	構築物	0	1	0				22	
11141	(構築物減価償却累計額)	0	1	0					
11150	教育用機器備品	0	1	0				23	
11151	(教育用機器備品減価償却累計額)	0	1	0					
11160	その他の機器備品	0	1	0				23	
11161	(その他の機器備品減価償却累計額)	0	1	0					
11170	図書	0	1	0				23	
11180	車輜	0	1	0				23	
11181	(車輜減価償却累計額)	0	1	0					

勘定科目(B/S,P/L)   資金収支の科目(C/F)   私学財団基礎調査科目設定									
連番	科目コード	科目名	FlgA	FlgB	FlgC	小科目	FlgG	FlgH	
5900		施設関係支出	3	2	0				
6000	11110	土地支出	0	2	0				
6100	11120	建物支出	0	2	0				
6200	11130	建物付属設備支出	0	2	0				
6300	11140	構築物支出	0	2	0				
6400	11190	建設仮勘定支出	0	2	0				
6500	11310	借地権支出	0	2	0				
6600	11330	施設利用権支出	0	2	0				
6700		設備関係支出	3	2	0				
6800	11150	教育研究用機器備品支出	0	2	0				
6900	11160	その他の機器備品支出	0	2	0				
7000	11170	図書支出	0	2	0				
7100	11180	車輜支出	0	2	0				

勘定科目(B/S,P/L)   資金収支の科目(C/F)   私学財団基礎調査科目設定									
連番	科目コード	科目名	FlgA	FlgB	FlgC	小科目	FlgG	FlgH	
13300		資産売却収入	3	2	1				
13400	76010	不動産売却収入	0	2	1				22
13500	76020	有価証券売却収入	0	2	1				24
13600	76030	その他の資産売却収入	0	2	1				23

資金収支の支出科目は、科目コードで資産科目に対応しています。(赤枠)

収入科目は、P/L科目の**売却益にも連携**しますので、固定資産科目は、FlgHで連携させています。

消費収支科目と科目コードで連携

## 収入・支出科目の連携

P/L 科目

勘定科目(B/S,P/L)		資金収支の科目(C/F)		私学財団基礎調査科目設定						
科目コード	科目名	FlgA	FlgB	FlgC	小科目	補助科目	FlgG	FlgH	消費税	
52000	経 費	3	2	0						
52010	消耗品費	0	2	0						
52015	教材費	0	2	0						
52020	光熱水費	0	2	0						
52030	旅費交通費	0	2	0						
52040	奨学費	0	2	0						
52050	車輛燃料費	0	2	0						
52060	福利費	0	2	0						
52070	通信運搬費	0	2	0						
52080	印刷製本費	0	2	0						
52090	出版物費	0	2	0						
52100	研修費	0	2	0						

C/F 科目

勘定科目(B/S,P/L)		資金収支の科目(C/F)		私学財団基礎調査科目設定						
連番	科目コード	科目名	FlgA	FlgB	FlgC	小科目	FlgG	FlgH		
2200		経費支出	3	2	0					
2300	52010	消耗品費支出	0	2	0					
2400	52015	教材費支出	0	2	0					
2500	52020	光熱水費支出	0	2	0					
2600	52030	旅費交通費支出	0	2	0					
2700	52040	奨学費支出	0	2	0					
2800	52050	車輛燃料費支出	0	2	0					
2900	52060	福利費支出	0	2	0					
3000	52070	通信運搬費支出	0	2	0					
3100	52080	印刷製本費支出	0	2	0					
3200	52090	出版物費支出	0	2	0					
3300	52100	研修費支出	0	2	0					
3400	52110	修繕費支出	0	2	0					
3500	52120	損害保険料支出	0	2	0					

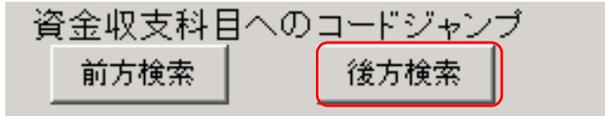
### 【補足事項】

- ・ P/L 科目と C/F 科目の連携は、収入または支出のどちらかになります。
- ・ 減価償却費、基本金組入額、引当金組入額など非資金取引は C/F 科目には対応する科目がありません。

# 科目連携のチェックについて

## 資金科目へのコードジャンプについて

- 例えばコード 21010 「長期借入金」の科目にカーソルポインタを移動して、コードジャンプの後方検索を実行すると、連携している資金収支科目 「長期借入金収入」の科目にジャンプし、もう一度後方検索のボタンを押すと、「長期借入金返済支出」にジャンプします。



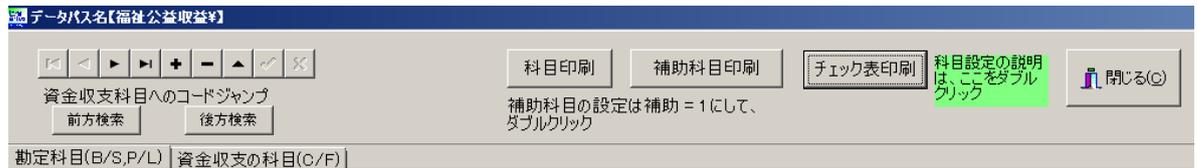
- このようにこのコードジャンプは勘定科目と収支科目の連携の確認がすばやく出来ます。

### 【注意】

- FlgH による連携は、コードジャンプでは飛びませんので、FlgH の欄を見て確認してください。

## 資金科目との連携チェック

- 「チェック表印刷」のボタンを押すと、



勘定科目と資金科目の連携チェック表が印刷できますので、連携のチェックを行ってください

コード	勘定科目名	A B C E D G H						連携する資金の借方科目						連携する資金の貸方科目									
		A	B	C	E	D	G	H	A	B	C	E	D	G	H	A	B	C	E	D	G	H	
12460	長期借入金積立資産	0	1	0				長期借入金積立資産支出	0	2	0				長期借入金積立資産増収収入	0	2	1					
12480	繰上償還積立資産	0	1	0				繰上償還積立資産支出	0	2	0				繰上償還積立資産増収収入	0	2	1					
12500	措置経費繰上積立資産	0	1	0				措置経費繰上積立資産支出	0	2	0				措置経費繰上積立資産増収収入	0	2	1					
12520	移住特別積立資産	0	1	0				移住特別積立資産支出	0	2	0				移住特別積立資産増収収入	0	2	1					
12540	人件費積立資産	0	1	0				人件費積立資産支出	0	2	0				人件費積立資産増収収入	0	2	1					
12560	修繕費積立資産	0	1	0				修繕費積立資産支出	0	2	0				修繕費積立資産増収収入	0	2	1					
12580	備品等購入積立資産	0	1	0				備品等購入積立資産支出	0	2	0				備品等購入積立資産増収収入	0	2	1					
12600	保育所施設整備積立資産	0	1	0				保育所施設整備積立資産支出	0	2	0				保育所施設整備積立資産増収収入	0	2	1					
12640	設備等整備積立資産	0	1	0				設備等整備積立資産支出	0	2	0				設備等整備積立資産増収収入	0	2	1					
12660	その他の積立資産	0	1	0				その他の積立資産支出	0	2	0				その他の積立資産増収収入	0	2	1					
12680	差入保証金	0	1	0				差入保証金支出	0	2	0				差入保証金収入	0	2	1					
12700	長期借入費用	0	1	0				長期借入費用支出	0	2	0				長期借入費用収入	0	2	1					
12720	その他の固定資産	1	1	0																			
12740	その他の固定資産	0	1	0	1			その他の固定資産支出	0	2	0				その他の固定資産収入	0	2	1					
12760	リサイクル積立金	0	1	0	1			リサイクル積立金支出	0	2	0				リサイクル積立金収入	0	2	1					
19800	資産の部合計	4	1	0																			

### 【補足事項】

- 最終的な確認は、テスト仕訳を行って、期待通りになっていることを確認してください。

## 学校法人固有の設定

下記のような設定を行うと、各種の帳票が作成できます。

### 人件費内訳表について

人件費内訳表は、C/F科目の設定を次のようにしてください。

P/L科目も同様にして下さい。

勘定科目(B/S,P/L)		資金収支の科目(C/F)	私学財団基礎調査科目設定					
連番	科目コード	科目名	FlgA	FlgB	FlgC	小科目	FlgG	FlgH
10		【支出の部】	9	2	0			
20	51000	人件費支出	3	2	0		500	
30	51005	教員人件費支出	2	2	0		505	
40	51010	本務教員	1	2	0		510	
50	51011	本 俸	0	2	0	1	510	
60	51012	期末手当	0	2	0	1	510	
70	51013	その他手当	0	2	0	1	510	
80	51014	所定福利費	0	2	0	1	510	
90	51015	退職金社回掛金	0	2	0	1	510	
100	51016	兼務教員	0	2	0		510	
110	51017	職員人件費支出	2	2	0		505	
120	51020	本務職員	1	2	0		510	
130	51021	本 俸	0	2	0	1	510	
140	51022	期末手当	0	2	0	1	510	
150	51023	その他手当	0	2	0	1	510	
170	51024	所定福利費	0	2	0	1	510	
171	51025	退職金社回掛金	0	2	0	1	510	
180	51026	兼務職員	0	2	0		510	
190	51028	嘱託手当支出	2	2	0		505	
200	51029	嘱託手当支出	0	2	0		510	
210	51030	役員報酬支出	2	2	0		505	
220	51031	役員報酬支出	0	2	0		510	
230	51040	退職金支出	2	2	0		505	
240	51041	教 員	0	2	0		510	
250	51042	職 員	0	2	0		510	

## 固定資産明細書に関すること

減価償却は、既定値のように間接法で行ってください。

11100	有形固定資産	2	1	0				
11110	土地	0	1	0			22	
11120	建物	0	1	0			22	
11121	(建物減価償却累計額)	0	1	0				
11140	構築物	0	1	0			22	
11141	(構築物減価償却累計額)	0	1	0				
11150	機器備品	0	1	0			23	
11151	(機器備品減価償却累計額)	0	1	0				
11170	図書	0	1	0			23	
11180	車両	0	1	0			23	
11181	(車両減価償却累計額)	0	1	0				
11190	建設仮勘定	0	1	0				

間接法で減価償却の仕訳を行うと、固定資産明細書が作成できます。

## 借入金明細書に関すること

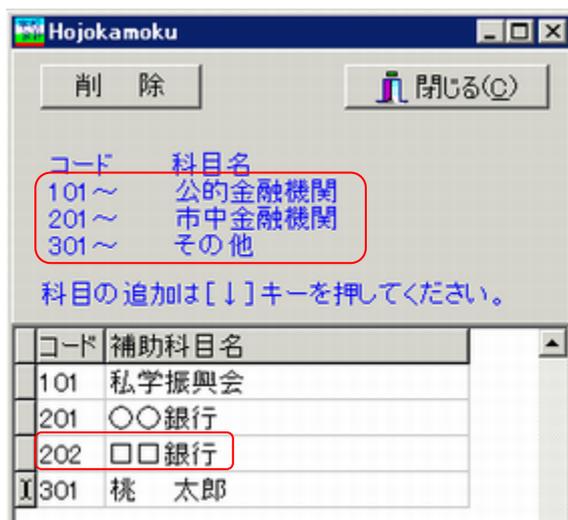
下記例のように、長期借入金や短期借入金に補助科目を付けて、FlgHを下図のように(210と220)します。

科目コード	科目名	FlgA	FlgB	FlgC	小科目	補助科目	FlgG	FlgH	消費税
20000	【負債の部】	9	1	1					
21000	固定負債	3	1	1					
21010	長期借入金	0	1	1		1		210	
21020	学校債	0	1	1					
21030	退職給与引当金	0	1	1					
21040	徴収不能引当金	0	1	1					
22000	流動負債	3	1	1					
22010	短期借入金	0	1	1		1		220	
22030	返済1年以内長期借入金	0	1	1				221	

次に、補助科目名を下図の例のようにします。

行の追加をする場合は、最後の行で下向きキーを押すと、空白行が出来ますので、そこで、202 □□銀行と入れてください。

コードの100台は公的金融機関、200台は市中銀行、300台は個人からの借入先になります。



以上の設定を行って、仕訳を行うと借入金明細書が作成できます。

## 予備費に関する科目設定について

P/L科目及びB/S科目ともに次のような設定にしてください。

勘定科目 (B/S,P/L)

勘定科目(B/S,P/L)		資金収支の科目(C/F)							
科目コード	科目名	FlgA	FlgB	FlgC	小科目	補助科目	FlgG	FlgH	消費税
57000	徴収不能額	3	2	0					
57010	徴収不能額	0	2	0				16	
59000	(予備費)	3	2	0			991		
59010	(予備費)	0	2	0			999		
59020	(予備費振替)	0	2	0			999	990	
59100	消費支出の部合計	4	2	0					
59110			2	0					

資金収支の科目 (C/F)

勘定科目(B/S,P/L)		資金収支の科目(C/F)							
連番	科目コード	科目名	FlgA	FlgB	FlgC	小科目	FlgG	FlgH	
1010	59000	(予備費支出)	3	2	0		991		
1020	59010	(予備費支出)	0	2	0		999		
1025	59020	(予備費振替)	0	2	0		999	990	
1030		資金支出調整勘定	3	2	0				

手順2) 予算設定の補正額欄にて

予備費の振替分をマイナス金額で入力します。

消費収支科目	資金収支科目	次年度消費収支予算	次年度資金収支予算					予 算
code	科目名	当初予算	補正額1	補正額2	補正額3	補正額4		
59000	(予備費)	1,000,000	-5,000					995,000
59010	(予備費)	1,000,000						1,000,000
59020	(予備費振替)		-5,000					-5,000
59100	消費支出の部合計	30,960,000	50,000					31,010,000

予備費の補正は(振替ではない)予備費欄に入力します。

消費収支科目	資金収支科目	次年度消費収支予算	次年度資金収支予算					予 算
code	科目名	当初予算	補正額1	補正額2	補正額3	補正額4		
59000	(予備費)	1,000,000	-5,000					1,195,000
59010	(予備費)	1,000,000		200,000				1,200,000
59020	(予備費振替)		-5,000					-5,000
59100	消費支出の部合計	30,960,000	50,000	200,000				31,210,000

確認) 決算書では次のように表示されます。

上段 ( ) に振替分が表示されます。

下段には予備費の残額が表示されます。

(予備費)	(	5,000					
		1,195,000					1,195,000
消費支出の部合計		31,210,000		27,819,067			3,390,933
当年度消費支出超過額		△4,309,000		△2,357,919			

## 私学財団調査書作成のために設定について

私学財団調査書が必要な場合は、次のような設定をしてください。勘定科目設定画面にて”私学財団基礎調査科目設定”の画面に入ります。左が勘定科目（資金科目）、右が調査科目です。

### FlgI の設定

勘定科目（資金科目）の FlgI に右の調査科目の FlgI のコードをすべて入れていきます。

入力方法は手で FlgI コードを入力するか、左の科目にカーソルあわせて、右の連結させたい科目をダブルクリックすると FlgI が設定できます。

例) ”1120 建物”にカーソルポインタを移動させて、右画面の”31 建物”でダブルクリックすると、FlgI に 31 が入ります。

### 注意が必要な箇所

貸借対照表の消費収支差額は次のようになります。

32000	【消費収支差額の部】	9	
32005	消費収支差額	3	55
32010	消費収支準備金	0	56
32030	翌年度繰越消費収入(支出)超過額	0	57
32040	消費収支差額の部合計	4	
32050			

消費収支計算書の超過額は次のようになります。

61000	当年度消費収入(支出)超過額	3	19
61010	前年度繰越消費収入(支出)超過額	0	21
61030	準備金繰入額	0	23
61035	準備金取崩額	0	24
61040	基本金取崩額	0	25
61045	翌年度繰越消費収入(支出)超過額	0	26
61050	当年度収支差額の合計	4	
61060			

### 資金科目の連携

資金収支科目も同様に FlgI に連携コードを入力してください。

勘定科目 資金科目

科目コード	科目名	FlgA	FlgI	FlgI	科目名
54000	借入金等利息支出	3	52	34	兼務教員
54010	借入金利息支出	0	53	35	(2)職員人件費支出
54020	学校債利息支出	0	53	36	本務職員
54030	手形割引料支出	0	53	37	(うち所定福利費)
	借入金等返済支出	3	52	38	兼務職員
21010	長期借入金返済支出	0	54	39	(3)役員報酬支出
21020	学校債返済支出	0	54	40	(4)退職金支出
22010	短期借入金返済支出	0	54	41	(5)その他 ((1)(2)(3)(4)以外の支出)
22030	返済1年以内長期借入金支出	0	54	42	b教育研究(管理)経費支出
22035	返済1年以内学校債支出	0	54	43	c施設関係支出
	施設関係支出	3	43	44	(1)土地支出
11110	土地支出	0	44	45	(2)建物支出
11120	建物支出	0	45	46	(3)構築物支出
▶11140	構築物支出	0	46	47	(4)その他 ((1)(2)(3)以外の支出)
11190	建設仮勘定支出	0	47	48	d設備関係支出